

林野庁 北海道森林管理局  
常呂川森林ふれあい推進センター

令和4年度 年 報

# オホーツクの「森」から



## 発行に当たり

オホーツク地方は、世界自然遺産「知床」や網走国定公園等、自然環境に恵まれ貴重な動植物を育む地域です。

常呂川森林ふれあい推進センターは、オホーツク最大の河川である常呂川流域を中心に、自然再生や生物多様性の保全、森林環境教育等に取り組む企業・団体・NPO等の活動の支援、技術指導等を行っています。

この度、令和4年度の主な活動内容をまとめましたのでご覧下さい。

---

## 目 次

|                  |             |
|------------------|-------------|
| 森林環境教育の取組み       | ・・・・・・・・ 1  |
| 地域との連携・普及啓発等の取組み | ・・・・・・・・ 4  |
| 自然再生・生物多様性保全の取組み | ・・・・・・・・ 8  |
| その他              | ・・・・・・・・ 10 |
| 活動区域「オホーツクの森」    | ・・・・・・・・ 11 |

---



## 森林環境教育の取組み

当センターでは、森林環境教育に携わる関係機関の活動支援・技術指導に取り組んでいます。

### ○ 常呂小学校

7月1日（金）、網走国定公園内のワッカ原生花園において、常呂小学校から依頼を受けて、常呂小3年生15名が参加する自然観察会「ワッカネイチャースクール」を行いました。

当日は、自然を観察する楽しさを感じてもらおうと体験型のネイチャーゲームを行いながら3班に分かれて散策を始めました。

自分の回りから聞こえてくる自然の音を、自分が感じた記号や形で地図にする「サウンドマップ」では、「風の音が一番大きく聞こえました。」「小鳥の声を何色にしようか迷いました。」などの感想がありました。

さまざまな感覚を使って、自然の中にある色・かたち・音などを探し出す「フィールドビンゴ」では、カードに書かれた「黄色い花」「ギザギザの葉」などを見つけようと注意深く観察していました。

「カメラゲーム」は、二人ペアになり、カメラマンは目隠しをしたカメラ役を被写体に誘導、カメラ役は見た光景を絵にします。場所が原生花園ということもあり花が咲いている植物を選んだ児童が多かったようでした。



■準備運動をかねてミニゲーム



■難しいビンゴは友だちと協力！



■いろんな色でサウンドマップづくり

引率された担任の先生からは「ネイチャーゲームは子ども達が楽しめる内容で良い経験になりました。今後もよろしくお願いします。」とのコメントをいただきました。

## ○オホーツクの森子ども探検隊

7月30日（土）、北見市端野町国有林内にある「オホーツクの森」において、子どもたちが自然に親しむイベント「オホーツクの森子ども探検隊会」を森林ボランティア「オホーツクの会」との共催で実施しました。

当日は、一般公募により北見市内の小学校から1年生～4年生12名が参加。

3班に分かれたこどもたちは、隊長役に扮したセンター職員から森林探検の指令を受けて、森林の中に設置された5つの関門の謎を解きながらゴールを目指します。

関門には冒険を見守る「森の番人」がおり、安全に探検ができるようにサポートをしています。



■用意された5つ関門の謎を解きながら遊歩道を探検



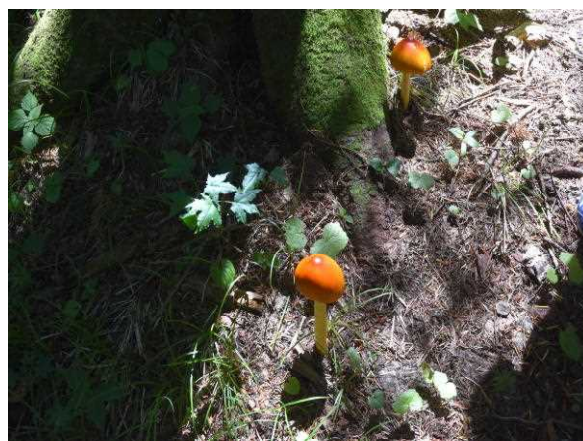
■森の番人が持っている木の葉を探し出す「同じもの探し」

移動中は手渡された探検ノート（ビンゴカード）を手に「セミのぬけがらを見つける」「鳥の鳴き声を聞く」「きのこを見つける」といったフィールドビンゴに挑戦。

「赤いキノコを見つけた！」「いま鳥の鳴き声が聞こえた」と楽しそうな声があがっていました。



■探検ノート（フィールドビンゴ）の様子



■「赤いキノコを探せ」ミッション達成！

探検を終えた子どもたちは、任務完了（感想）を隊長に伝えた後、お昼ごはんまで木の枝から吊り下げたハンモックやロープ渡りなどを楽しみました。



■ハンモック遊び



■ロープ渡り

午後からは、落ち葉や木の実を材料に万華鏡を作成。  
森林の中での遊び体験を通じて、自然の魅力を感じた一日を過ごしました。



■自然の素材を使った森林の万華鏡づくり

※新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した森林環境教育

- 端野小学校 森林教室（6月）
- 生田原教育センター キッズチャレンジクラブ（7月）

## 地域との連携・普及啓発等の取組み

当センターは、森林ボランティアの活動支援・技術指導や民国連携の取組み、森林の普及啓発等に取り組んでいます。

### 【網走市】

#### ○網走市主催イベントの支援

6月21日（火）、網走市美岬地区国有林において、自然散策ガイドのレクチャーを行いました。

これは、市が主催する木育イベントで一般市民を対象に自然散策会を行うことから、イベントスタッフにガイド役の手ほどきをして欲しいとの依頼を受けて実施したものです。

当日は、市職員を含めた10名が参加して「森の巨人たち百選」に選ばれた「美岬のヤチダモ」の遊歩道コースにおいて、樹木の見分け方を中心に自然散策を楽しむ方法を学習しました。

参加者からは「オホーツクの森について勉強になった。」等の感想がありました。



■ 樹木の特徴の説明を受ける参加者

9月10日（土）、網走市美岬地区国有林において、網走市主催「あばしり学口セトコース」をサポートしました。

この取り組みは「地域の魅力を再発見し郷土愛を育む」ことを目的として、毎年小学生を対象に行われているものです。

参加したのは小学生9名、サポートとして高校生5名、大学生3名。今回は「美岬のヤチダモ」周辺の遊歩道を巡りながら、自然の中で木々に触れたり匂いを嗅いで、その働きについて学びました。午後からは、木の実を使った木工クラフトを作成して地域の自然に親しんだ1日を過ごしました。



■ 思い描いたキャラクターを作成中



■ 作品

## 【オホーツク総合振興局】

### ○ 高等支援学校の林業体験

10月18日（火）、オホーツク総合振興局から協力依頼を受けて、日本体育大学附属高等支援学校の1年生30名を対象とした「フィールド学習」をサポートしました。

午前中は、津別町道有林「オホーツクおとの森」において、オホーツク総合振興局東部森林室や指導林家の皆さんと連携して、生徒たちに林業体験（枝打ち作業）の指導を行いました。



■ 樹木を傷つけないように注意して作業中

午後からは、チミケップ湖周辺の道有林に移動して、往復約2kmの見晴台コースを散策して樹木観察のガイドを行いました。

## 【緑と花の市民の会】

### ○ 「緑の募金」街頭キャンペーン

4月21日（木）、北見市内で緑と花の市民の会主催の「緑の募金」街頭キャンペーンが行われ、当センターから2名が参加しました。

同募金は、地域の緑化を進めて様々な「森林づくり・人づくり」活動の活性化を目指すもので、当日は市民と各団体企業など8団体から約50人が参加し、JR北見駅広場から商店街にかけて、道行く市民に募金活動を行いました。



■ 商店街での街頭キャンペーン

コロナ渦から声かけは控えめに、ボードを使っただけの募金活動となりましたが、市民の方々は快く募金に応じてくださり、とても清々しい気持ちにさせていただきました。

## 【森林ボランティア オホーツクの会】

### ○ 夏の森林散策会

7月3日（日）、北見市常呂町「ワッカ原生花園」で「オホーツクの会」の夏の森林散策会をサポートしました。

当日は天気にも恵まれ、23名の参加者は4班に分かれておよそ2時間、彩り豊かな草花を楽しみました。

午後からは、ところ遺跡の森へ移動し、ガイド役のセンター職員からミズナラやカシワなどの樹木の解説を受けながら、ミステリアスな雰囲気漂う遺跡の森の散策を楽しみました。



■テキストを片手に野草を調べます



■遺跡の森を雰囲気満喫

### ○ 炭作り&色いろ食べ隊

10月29日(土)、北見市端野町「オホーツクの森」で「オホーツクの会」の飾り炭作りのサポートを行いました。

当日は22人が参加して、各々が持ち寄った松ぼっくりや栗のイガ、ハスの実など飾り炭にしたいものをスチール缶に入れて、薪ストーブで加熱。

炭焼きが完成するまでの間は、ヤマブドウ狩りを楽しみ、会員が腕をふるった豚汁を味わいながら、年内最後の会のイベントを楽しみました。



■薪ストーブ準備中



■飾り炭の材料はお好みで

### ○ その他の活動支援

5月18日～23日 第2回4コマ写真展

10月16日 秋の森林散策会(足寄町 オンネトー)

R5 3月 4日 冬の森林散策会(清里町 神の子池)

#### 森林ボランティア 「オホーツクの会」

オホーツクの会は森林でのボランティア活動を通じて、森林の中で自然と親しみ、森林に学び、これに共感する人の輪を広げようと平成20年3月に設立されました。活動場所は北見を中心に主に国有林「オホーツクの森」で活動しています。



## ○ 森林へおいでよ！パネル展（センター・オホーツクの会共催）

9月2日（金）～11日（日）、北見市緑のセンターにおいて、森林ボランティア「オホーツクの会」との共催で、オホーツク地域の森林の魅力を伝える「森のパネル展」を開催しました。

コロナ渦もあって3年振りの開催となった今回は、オホーツクの森に咲く花や自動撮影カメラによって撮影されたキツネやタヌキなどの野生動物のほか、当センターの活動内容をパネルにして展示しました。

10日と11日の2日間は、木の実や小枝を使った木工クラフトコーナーを設置しました。来場された方々は、用意されたどんぐりや松ぼっくり、小枝を上手に切ったり接着したりして、思い描いた動物やキャラクターを制作。

工作の楽しさと自然のぬくもりを感じていただきました。



■センターを活動をPR



■思い描いたキャラクターを制作中

※ 天候不良により中止となったイベント

○ センター主催 森林の魅（味）力を感じよう！（山菜教室）（5月）

○ 網走中部・網走南部署・オホーツク総合振興局共催

「山の日」制定記念 森林散策会（藻琴山登山）（8月）

## 自然再生・生物多様性保全の取組み

### 【自然再生モデル事業企画運営協議会】

自然再生モデル事業企画運営協議会は、平成17年10月に発足し、オホーツクの森内「自然再生モデル林」における森林づくりの活動や今後の森林の取扱いを検討しています。

今年度の企画運営協議会については、新型コロナ感染予防の観点から現地で行う会議（10月）を中止し、3月に書面開催で実施しました。

### 【野生生物自動撮影調査】

「自然再生モデル林」において、アライグマ等の生態系に影響を及ぼす外来生物や野生生物の生息動向を確認するため、赤外線感知装置付きの自動撮影カメラを設置して、7月と8月に生息調査を実施しました。



■タヌキ 2022.7 撮影



■キタキツネ 2022.8 撮影

### 【オホーツクの森づくり】

6月28日（日）、北見市端野町「オホーツクの森」で17名が参加して、森林づくり活動「オホーツクの森づくり」を開催しました。

この活動は森林に対する理解を深めることを目的として、多様な樹種が混在していた100年前の森林を目指して、ストロープ人工林の一部に樹種転換エリアを設定し、広葉樹の植樹と手入れを行っているものです。

今回は、植樹した木の生長を促すために周囲のササや雑草を刈り払う下刈と植栽木の観察を容易にするために表示杭の設置を行いました。

参加者からは「植えた場所によって成長に違いがあるのを知りました。理由を調べてみたいです。」「初めての参加で少



■植栽木の表示杭の設置中



■山野草の見分け方の説明

し不安でしたが、手鎌の使い方を丁寧に教えていただいて上達した気分です。」などの感想がありました。

午後からは、「オホーツクの森」展望台から能取湖や網走湖を眺望した後、巨樹・巨木が多く残る遊歩道を散策。

生い茂った葉が日差しを遮る森の中は涼しく、ガイドをつとめた職員から樹木・山野草の見分け方の説明を受けながら、森林浴を楽しみました。

### 【常呂川森林づくり塾】

6月5日（日）、北見市端野町「オホーツクの森」において、11名の参加により「常呂川森林づくり塾」を開催しました。

このイベントは、林業体験を通じて森林の持つ役割を理解していただき、森づくりに携わるボランティアの輪を広げることを目的として年2回開催しています。

前日からの雨の影響で気温が上がらず、小雨も降るあいにくの空模様でしたが、4班に分かれた参加者は手際よく用意されたミズナラを植樹していました。

参加者からは「来年募集があったらまた参加して成長を見てみたい。」などの感想がありました。



■ミズナラの植樹の様子

10月1日（土）、北見市端野町「オホーツクの森」において、15名の参加により秋の「常呂川森林づくり塾」を開催しました。

今回は自然再生モデル林内に植栽するミズナラの掘り取り作業と最新型の林業機械による木材生産現場を見学しました。

参加者された方は、これまで森林づくり塾を受講された方が多く、手際よくミズナラ苗木の掘り取りを完了。予定していた時間よりもかなり早く、用意した手作りの苗圃へ移植することができました。

午後からは、赤坂木材株式会社様のご協力を得て間伐作業の現場を見学。

林業機械の正確で迫力のある動きに感心されていました



■高性能林業機械の作業を見学

## その他の取組み

### 【樹名板コースの活用】

#### ○若手職員の職務スキルの向上

9月6日（火）、北見市端野町「オホーツクの森」樹名板コースにおいて、森林管理署と北見市、置戸町、佐呂間町の若手職員を主体とした11名の参加により、各種の森林調査に対するスキル向上を目的とした「樹木判別学習会」を実施しました。

午前の部は、樹種判別の基礎である単葉・複葉の種類、葉脈・葉柄などの部位を説明し、2班にわかれて樹名板が設置された43種類の樹木やツル類を観察しました。

午後の部は、20種類の樹木判別を行い、自分の知識を確認し、それぞれのスキルアップを図りました。

参加者からのアンケートには「樹名の由来の話など初めて知ったことが多かった。」「樹皮で判別できるよう勉強していきたい。」などの感想がありました。



■葉や樹皮の特徴から樹木を判別

### カツラ

- ・高さ30m、太さ200cmほどになる広葉樹
- ・葉は対生し長さ4~8cm、ハート形で小さな波状の鋸歯がある。秋に黄葉し甘い香りがする

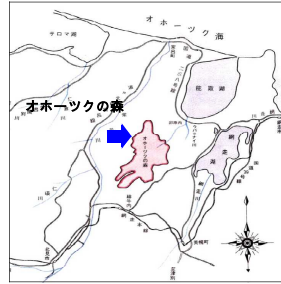
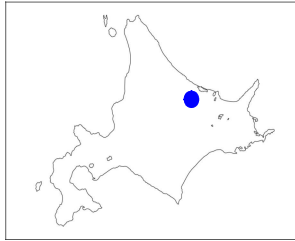


- ・樹皮はねじれるように長く割れる
- ・用途：公園樹、街路樹、家具材、茶壺など

★太くなると株立ちが多い

★「香りが出る=香出(かづ)る」が名前の由来という説がある

## 活動区域「オホーツクの森」



この案内図と、現地交差点にある道標の丸数字は、位置が合致しており、現在地の確認に便利です。

| 区間距離                 |        | 凡例           |
|----------------------|--------|--------------|
| 赤色ルート(①~⑩)           | 23.1km | 古の森          |
| 青色ルート(⑥~⑨)           | 7.9km  | 主要道路         |
| 緑色ルート(④~⑫)           | 6.9km  | その他道路        |
| 黄色ルート(⑳~㉔)           | 7.9km  | オホーツクの森入口指路標 |
| 桃色ルート(⑥~⑫)           | 1.3km  | 道路案内図        |
| 自然再生モデル林ルート(⑤-⑪-⑫-⑬) | 2.3km  | 位置番号         |
| 環境教育実践コース(④~⑪)       | 2.6km  |              |



林野庁 北海道森林管理局  
 常呂川森林ふれあい推進センター  
 〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11の3  
 【TEL】0157-23-2960 【FAX】0157-26-2144



[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa\\_fc/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html)